

TBグループ 「NEXTステージ」へ挑戦!

デジタルサイネージなど流通情報機器大手のTBグループ（東証Ⅱ部、本社・東京）は、「NEXTステージにチャレンジ」を経営スローガンに掲げ、環境・健康・観光のグット3K分野で多言語情報サービスの「オモテナシ」と「ハード/コンテンツ/e-コマース」をセットにした事業を行う。その具体的取り組みを村田三郎会長（CEO）に聞いた。（小林茂）

――NEXTステージに経営資源を選択し集中する

「わが国の経済環境がデフレからインフレ、守りから攻めへ変化した。その兆しを昨期先取りし「NEXTステージ」事業への種まきを進めてきた。芽が出始めた事業に今期経営資源を選択し集中して「事業の垂直立ち上げ」に挑戦する」

情報サービスで差別化

――LED&ECO分野のNEXTステージは

「当社は、販売以来累計27万台の店舗用LED表示機と屋外用デジタルサイネージのトップメーカー。同分野のNEXTステージは、LED制御というコア技術を使った環境に優しく「外国人・シニアにも優しい」オモテナシソリューション事業だ。英・中・韓などの多言語表



むらた・さぶろう 福岡工大卒。1969年船井電機入社。78年ビッグサンズを設立し、社長就任。電子ディスプレイ、病院カード事業などを行い、2007年からTBグループ代表取締役会長（CEO）。67歳。長崎県出身。

村田 三郎CEOに聞く

示と「スマホ簡単入力」をシステム化する。また情報サービスで、多言語ニュースや地震・異常気象警報配信を行う。さらに「ゆるキャラモデルの3Dプリンター製作やデコアニメ配信、

などで差別化を図る」
――トータルテクノソリューション事業とは
「ビジネスの動脈である開発、生産、販売と静脈である取り付け、保守、サービスを一体

化した業界初のソリューション事業「LED工房」を行う。LED照明・表示機/蓄電池/ソーラー/地中冷熱ヒートポンプ

などを組み合わせたEMS（エネルギー管理・システム）環境ビジネスだ」

全国100拠点の観光地で展開

――スマテレ事業を始める

「健康分野へのNEXTステージは「スマテレ」事業で、関連会社の病院TVシステムトップメーカーのホスピタルネット（本社・東京）と協業で実現する。「地デジ」転換で病院はIPTVに大半置き換わり、このインフラをホスピタルコンシェルジュに活用する。産婦人科向けにタブレット端末で情報提供する「HosPad」1000台、今年3月に大学病院に600台納入し、注目を浴びている。これら事業を集約しオムニチャネル型

ビジネスに挑戦する」

――観光分野のNEXTステージはオモテナシビジネス

「3月末、グループ会社のエムビジュアルは、セーラー万年筆、NDSの増資を受けた。業界初のTOEN（トータルエンジョイ&エマージェンシーネットワーク）事業で外国人観光客向け多言語情報サービスを展開している。多言語LED表示機/食事メニュー案内などの「オモテナシ」事業を観光地周辺の飲食・土産物店・ホテル等に広げる」

会社DATA

TBグループ

東証Ⅱ部 (6775)

所在地 東京都文京区本郷3丁目26の6

事業内容 LED表示機・デジタルサイネージ・LED照明、電子マネー/電子レジスター